

VISIONARY INSTITUTE -2010 Seminar

『今、私達が学んでおかななくてはならないこと—確かな未来創造へのマイルストーン』

よりよい未来への卓見力を育むための—VISIONARY INSTITUTE—が、2010年4月より始動します。それは、本質的な価値創造を志向するものです。今、教を乞いたい各界の識者による毎月のリレーセミナーは、必ずや私達の「意識変革(マインド・イノベーション)」の創発を辿ることにもなるでしょう。私達の過去・現在・未来を統合的に通観する機会。どなたでもご参加いただける一般セミナーです。



第1回 4月20日(火) 講師 野中 郁次郎

テーマ 美徳のイノベーション 未来を経営する作法

一橋大学名誉教授、カリフォルニア大学ゼロックス知識学名誉ファカルティ・スカラー、クレアモント大学院大学ドクター・スクール名誉スカラー。HEC Paris 名誉博士。1935年生まれ。南山大学、防衛大学校、一橋大学、北陸先端科学技術大学院大学、一橋大学大学院国際企業戦略研究科各教授を経て現職。



第7回 10月18日(月) 講師 高間 邦男

テーマ 人財のイノベーション 未来を学習する組織

株式会社ヒューマンバリュー 代表取締役。東京都出身。現学校法人産業能率大学総合研究所勤務後、同研究所事業本部講師を経て、1985年現ヒューマンバリューを設立。1996年から「学習する組織」についての研究調査を行い、現在はAI・OSTなどのポジティブアプローチでの組織変革の手法の紹介を行っている。



第2回 5月10日(月) 講師 ゲナエル・ニコラ

テーマ 異文化のイノベーション 未来を発見するデザイン

デザイナー。E.S.A.G.(パリ)でインテリアデザイン科、RCA(ロンドン)でインダストリアルデザイン科を卒業。1991年来日。1998年デザインスタジオ「キュリオンティ」を設立。1966年フランス生まれ。建築、インテリア、プロダクト、グラフィックなどを超えて、幅広い分野で活躍。2009年、第3回「KU/KAN賞」の受賞。ほか、IF DESIGN AWARD、JCD、DDA等受賞多数。



第8回 11月24日(水) 講師 的川 泰宣

テーマ 飛翔のイノベーション 未来を開発する宇宙探査

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 名誉教授、同技術参与。NPO法人 子ども・宇宙・未来の会 会長。1942年広島県呉市生まれ。東京大学宇宙航空研究所を経て、現職。永年、科学観測のためのロケット及び人工衛星の飛翔計画の策定、設計に従事。また宇宙科学における国際協力の窓口を務めると共に、広く国民・青少年に対する宇宙をテーマとする教育・普及活動を行う。



第3回 6月21日(月) 講師 伊藤 俊治

テーマ 意識のイノベーション 未来を予見するアート

東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授。多摩美術大学美術学部教授を経て、現職。東京クリエイティブ設立企画運営、国際交流基金国際展委員、文化庁芸術文化振興基金審査委員、東京都写真美術館企画運営委員、NTTインターコミュニケーション・センター・コミッティ、日本万国博覧会デザイン委員会委員長など数多くの日本の文化創造の要職をつとめる。



第9回 12月20日(月) 講師 佐治 晴夫

テーマ 創成のイノベーション 未来に継承するリベラルアーツ

鈴鹿短期大学学長。1935年東京生まれ。理学博士。東京大学物性研究所、玉川大学教授などを経て、04年から現職。大阪音楽大学大学院、玉川大学客員教授を兼任。現在は、宇宙研究の成果を平和教育の一つの題材として位置づけ、全国の学校への授業行脚を続ける一方で、宇宙航空研究開発機構の宇宙連携編纂委員会委員長なども務める。



第4回 7月8日(木) 講師 福原 義春

テーマ 未来をつくるイノベーションのための文化資本

株式会社資生堂名誉会長。1931年東京生まれ。東京都写真美術館長、(財)かながわ国際交流財団理事長、(社)企業メセナ協議会会長、東京芸術文化評議会会長、文字・活字文化推進機構会長、経営倫理実践研究センター理事長、全日本蘭協会名誉会長、日仏経済人クラブ日本側議長、パリ日本文化会館支援協会会長、経済人同人誌「ほぼづる」代表世話人、ほか公職多数。



第5回 8月4日(水) 講師 山本 哲士

テーマ 存在のイノベーション 未来を察知するホスピタリティ

東京藝術大学客員教授、文化科学高等研究ジェネラル・ディレクター、日本ホスピタリティ・ビジネス会議ジェネラル・ディレクター、国際ホスピタリティ研究センター ジェネラル・ディレクター。1948年福井県生まれ。信州大学教授を経て、現職。



第6回 9月(予定) 講師 松岡 正剛

テーマ 言語のイノベーション 未来が出現する編集技法

編集工学研究所所長・インシ編集学校校長。1971年工作舎設立、オブジェマガジン『遊』を創刊。1987年編集工学研究所を設立、後に、東京大学客員教授、帝塚山学院大学教授を務める。日本文化研究の第一人者。1944年京都生まれ。

会場 アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー40階もしくは49階)
時間 19時~20時30分(予定)
受講料 5,000円(1講座につき)

詳細・お申し込みについてはウェブサイトをご覧ください。
<http://www.academyhills.com/school/>
※各セミナーのお申込みは、開催日の約1ヶ月前よりスタートします。
※日程・内容は変更になる場合がございます。ご了承ください。

共催: アカデミーヒルズ、VISIONARY INSTITUTE
企画: 株式会社エムシープランニング
協力: 株式会社ヒューマンバリュー、株式会社国際ホスピタリティ研究センター
株式会社人財ラボ、株式会社二期リゾート、株式会社三五館

ライブラリートーク

VISIONARY INSTITUTE -2010 World Café

『今、私たちが語り継いでゆきたいことー確かな未来創造へのワールド・カフェ』

4月より開催されるセミナー・シリーズ『VISIONARY INSTITUTE-2010 Seminar』
の開催日前後に行われるのが、ライブラリートーク シリーズ『VISIONARY INSTITUTE
-2010 World Café』です。各講師陣の思想や推薦著書を「編集的」に紹介します。
そして、“ワールド・カフェ”と題し、六本木ライブラリーのメンバーの交流や、創造される
未来へのヴィジョンを共有することにより、この時代における私達の発想や思潮の
変化・進化・深化を記録します。そして、その記録は2011年度に一冊の書籍として誕生
する予定です。

※World Caféとは：私達がオープンに会話をを行い、自由にネットワーク
を築くことができる「カフェ」のような空間で、お互いの想いを共有したり、
知識・知恵を創発する話し合いの方法。あたかも蝶が他花受粉するよう
にアイデアを結び付け、気づきや発見を生み出してゆきます。

協力：株式会社ヒューマンバリュー ガーデナーズ

<http://www.humanvalue.co.jp/service/wcafe/>

※ライブラリートークとは：六本木ライブラリーのメンバーを対象にした
イベントです。参加は、メンバーご本人及び、同伴の方1名となります。

第1回 4月12日(月)

テーマ オリエンテーション

全体概要の設計とその意図を紹介します。その後、ワールド・カフェのセッションを実施。よりよい
未来を語り合う時間を共有してください。2回目以降は、前月のセミナーや課題書籍を振り
返り、考察を深めていきます。

第2回 4月28日(水)

テーマ 課題書籍：『美徳の経営』(野中郁次郎著、NTT出版刊、2007/05)

2007年の『ウォール・ストリート・ジャーナル』誌で「The most influential business thinkers
(最も影響力のあるビジネス思想家トップ20)」に選出された野中郁次郎氏。自身が説く、実践
知を担う賢慮型リーダーに求められる能力や、美徳の経営学について考察・対話を行います。

第3回 5月24日(月)

テーマ 課題書籍：『日経アーキテクチャー』(2010年5月号)and『Designers' vol.2』

「日経ビル・メディアギャラリー」「ユニクロメガストア」などの近作や、光をテーマとしたエキシ
ビジョンでも高い評価を得ているグエナエル・ニコラ氏。人の体験や動的視点から生まれる
デザインへのアプローチにさらに異文化が交差する、氏の発想の根源を考察・対話します。

第4回 6月25日(金)

テーマ 課題書籍：『電子美術論』(伊藤俊治著、NTT出版刊、1999/03)

異業種交流のデザインネットワークの設立企画運営、異文化融合と共同創造の実践的教育
機関の企画運営、都市創造型のワークショップスタジオのディレクションなどを担われた伊藤
俊治氏。時代の先端技術とアートとの関係性を通じて、私達の未来と存在を考察・対話します。

第5回 7月14日(水)

テーマ 課題書籍：『だから人は本を読む』(福原義春著、東洋経済新報社刊、2009/09)

2010年、国民読書年の取組みを政官民と共に推進する財団法人 文字・活字文化推進機構
会長を務める福原義春氏。「私という人間は今までに読んだ本に編集されてできあがっている
のかもしれない」と綴られる氏の思想に触れ、真の文化価値について再考・対話を進めます。

第6回 8月10日(火)

テーマ 課題書籍：『ホスピタリティ原論』(山本哲士著、文化科学高等研究院刊、2008/04)

企業文化誌「iichiko」のディレクターとしても知られる山本哲士氏のホスピタリティ論は、21
世紀の経済活動の礎となる可能性に貫かれています。創造的な企業が「生産すること」の意味
を再考しながら、人と人の中で作用する力学について理解を深め、対話を重ねてゆきます。

第7回 9月30日(木)

テーマ 課題書籍：『千夜千冊』(松岡正剛著、求龍堂刊、2006/10)

日本で初めてのエディトリアル・ディレクターとして、アート・思想・メディア界に多大な影響を
与える松岡正剛氏。研究成果を情報文化技術に応用・発展させる活動など、氏の多方面
におよぶ「知の編集術」を紹介しながら、私達の言語・文脈について考察・対話を重ねます。

第8回 11月2日(火)

テーマ 課題書籍：『組織を変える「仕掛け」』(高間邦男著、光文社新書刊、2008/09)

企業のニーズに合わせて研修システムや変革プロセスを協働開発し、企業内で展開すること
を永年にわたって実施されている高間邦男氏。組織が変わる「仕掛け」について、参加される
皆さんの職場事例を通じて、その意義と方法・成果を共に考察・対話します。

第9回 12月2日(木)

テーマ 課題書籍：『宇宙からの伝言』(的川泰宣著、数研出版刊、2004/12)

人類の宇宙探査を担う日本のロケット開発を通じて、組織生産性の鍵を考察します。また、
次世代を担う子供達に「いのちの大切さ」を学ぶ教育普及活動に力を注ぐ氏の活動から、
宇宙からの視座・視野・視点に立った私達の未来(=宇宙からの伝言)を考察・対話します。

第10回 2011年1月7日(金)

テーマ 課題書籍：『女性を宇宙は最初につくった』(佐治晴夫著、春秋社刊、2009/03)

量子論的「無のゆらぎ」からの宇宙創生の理論で知られる佐治晴夫氏。宇宙研究の成果を平
和教育の一つの題材として位置づけて次世代育成に力を注いでいます。真の科学的思考を通
じてご講演いただく12月のレクチャーから、私達の統合的教養のあり方を再考・対話を重ねます。

会場 アカデミーヒルズ (六本木ヒルズ森タワー40階もしくは49階) 時間 19時15分～20時45分

詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.academyhills.com/library/>

※応募方法は、メンバーの方へ直接e-mailにて事務局より、随時お知らせします。 ※日程、内容は変更になる場合もございます。予めご了承ください。

主催：アカデミーヒルズ 六本木ライブラリー 企画：株式会社エムシープランニング <http://www.mcplanning.jp>

ファシリテーター：VISIONARY INSTITUTEムーンソサエティメンバー <http://www.orbs-japan.com/whats3.html>

株式会社国際ホスピタリティ研究センター <http://www.japanhospitality.com>